



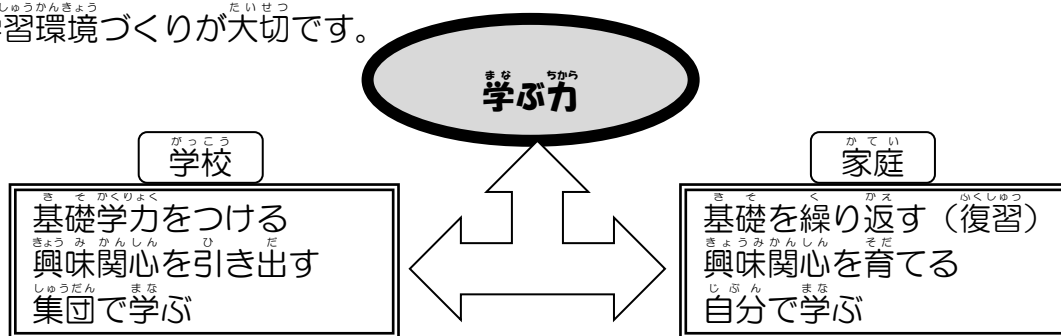
かめやまひがししょうがっこう
亀山東小学校



がく いえ学のススめ（3・4年生） ねんせい

こ せいちよう
子どものよりよい成長のために ～家庭での学習環境づくり～

こ 子どもの「学ぶ力」を育てるには、学校と家庭の連携が必要です。学校で学習したことをその日のうちに復習すると、学習した内容の8割は定着するのに対し、復習をしなければ、定着は2割まで落ちてしまいます。子どもたちが学んだことを生かしていくために、家庭での学習環境づくりが大切です。



まな ちから
学ぶ力とは？

さまざまなことに興味をもち、自ら学習に取り組む。
毎日決まった時刻に集中して学習し、理解・習得する。
学習したことを活用する。

「学ぶ力」には、上記以外にも、創造力・一般化する力・丁寧にに取り組む力など、多くの力があります。学校・家庭それぞれで、子どもたちに正しい学習習慣をつけることが、これらの「学ぶ力」を養い、学習に大きな影響を与えます。本校では、家庭学習ノート「まなびノート」を用いて、この「学びの習慣」と「創造力」を身につけていきます。

いま
今はこんなとき

興味をもつことから行動範囲も広がり、個性が伸びる時期です。好きなことに熱中し、自主性が出てくる一方で、短期間で終わり継続しないこともよくあります。子どもが納得して理解するには、順を追って話し合うことが大切です。子どもの努力を見逃さず、あたたかい励ましやアドバイスをすることが、子どもを意欲的にさせ大きな成長を促すでしょう。

いえ学カードより

- 宿題以外の家庭学習をしている子どもが増加している。
- わからない問題があったとき、自分で調べるようになってきている。
- 多くの家庭で、いえ学週間の間、家族みんなで読書をしたりメディアの時間を減らすよう協力している。

3・4年生

◎学習環境づくり

①時刻と時間を決める

時刻

- ・〇時～〇時にする。
- ・夕食までにする。
- ・帰ったらすぐにする。 など

時間

学習時間のめやすは、60分程度。

②学習の流れを決める

《例》

- (1) まず宿題をする。
- (2) 次に復習をする。
- (3) そして、読書や予習をする。

③集中できる環境をつくる

- ・テレビや音楽を消す。
- ・まんがやおもちゃを片づける。
- ・削った鉛筆、消しゴム、定規など、学習用具をそろえておく。

④準備をする

- ・学習の時間・場所を決めておく。
- ・必要な学習用具をそろえる。
- ・無理のない学習計画を立てる。

☆ポイント

- ・宿題を毎日忘れずできるようにする。
- ・毎日同じ時刻にできるようにする。
- ・自分で計画を立てられるようにする。

⑤終わったら

- ・正しいか間違いがないか見直す。次の日の準備をする。

◎いえ学の内容

国語

- ・抑揚をつけて、はっきり声に出して音読する。
- ・漢字は、ていねいに書いておぼえる。
- ・毎日、本を読む。

算数

- ・加減乗除の計算が正確にできるようにする。
- ・文章題や応用問題などに取り組む。

その他

- ・自分の住んでいる地域に関心をもち、調べる。
- ・自然や生き物のことに興味をもち、調べる。
- ・家族の一員として、家の仕事を決めてする。
- ・図書館などを利用し、たくさんの本を読む。

☆生活習慣を整え、外出は家族と時間の約束を決めましょう。自分で決めた目標やめあてを守れるようにしましょう。